

明星



「であい ふれあい そして未来へ」 ～自分を発揮し 求め続ける白川っ子の育成～

★9月16日(金)4.5.6年が 高学年デイキャンプへ行きました★

9月16日(金)4.5.6年が津市のマリーナ河芸へ高学年デイキャンプに出かけました。当初の予定では、1泊2日の予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大を配慮し、活動の内容は同じにして宿泊はしないデイキャンプの形式で実施しました。

普段、山の自然と触れ合って日常生活を送っている子どもたちにとって、マリーナ河芸での海での体験はとても新鮮に感じているようでした。

開所式の後、早速砂浜へ出て、貝殻拾いを楽しみました。真っ白で綺麗な2枚貝の貝殻や、巻貝の貝殻を見つけることができました。

次に、マリーナに戻って、カヤック乗船体験をしました。マリーナ河芸のスタッフの方から、乗船についての注意事項を聞き、ライフジャケットを装着したときには、子どもたちの中には、少し緊張している表情もみられました。オールの使い方を教えていただき、2人1組でカヤックに乗船していきました。最初は、少し戸惑いも見られましたが、2人で声を掛け合って、協力してすぐにうまく進むようになりました。全員で記念撮影をした後、田中川の河口付近まで漕いで戻ってくることができました。

お昼まで、少し時間があったので、河芸の浜の自然を守るボランティア活動として、浜のごみを回収するクリーン作戦に参加しました。河芸町の砂浜に



は、近年ウミガメが産卵に来るなど少しずつ以前の綺麗な砂浜に戻りつつあります。地域の方々やマリンスポーツを楽しむ人たちのボランティア活動によって、砂浜や干潟の自然は守られています。白川小学校の子どもたちもこの活動に参加させていただき、ごみ袋3袋分ほどの、流れ着いたプラスチック等のごみを回収しました。

お昼は、50人分以上のパエリアを作ることができる、巨大なパエリア鍋で、屋外でパエリアを作り、みんなでいただきました。パエリアを3杯くらいおかわりをする子もいました。大変美味しくいただくことができました。

午後は、干潮の時間に合わせて、河芸干潟の観察を行いました。河芸干潟は、河芸の浜と同様に、地元のボランティアによって保護され、約9ヘクタールの広さの干潟に約300種以上の動植物が生息すると言われています。今回の観察では、国の絶滅危惧種に指定されているかにの一種ハクセンシオマネキをたくさん見つけることができました。人の足音や声が聞こえるとすぐに巣穴に入っていく姿が印象的でした。

今回のキャンプでは、子どもたちが定めたテーマである、積極的の行動する、みんなで楽しめるキャンプにする、みんなで仲良くする、は十分に達成できたと思いました。そして今回は、自然を大切にする事の大切さを、クリーン作戦への参加や干潟観察で学んでくれたのではないかと思います。

今回の貴重な体験を今後の学校生活へいかしてほしいと思いました。

